

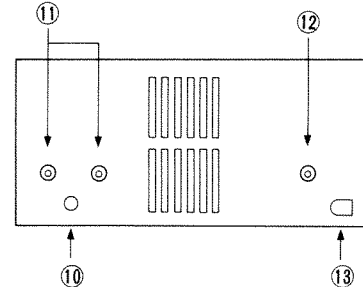
【運用前の接続と注意】

- 1) 本機の入力コネクタ⑫に送信機の出力を接続します。
- 2) 本機の出力コネクタ⑪にアンテナを接続します。
(ANT-1、ANT-2の切替えはパネル面⑨で切替えます。)
- 3) DC電源コネクタにDC13.8Vを接続しメーターレンジ切替を20W又は200Wにすると照明ランプが点灯します。
- 4) ⑩のアース端子は必要に応じて接地します。
- 5) 本機はSWR・電力計部とチューナー部からなっています。
⑥のチューナースイッチでSWR・電力計部のみ動作させるか、チューナー部も動作させるかを、切替えます。
■ THRUでSWR電力計のみ動作となり、チューナーで調整しない、アンテナ自体のSWRが測定出来ます。
■ TUNERでSWR電力計とチューナー部が接続されます。
- 6) チューナーで調整する際には、最初SWR≒1に近づくまで、必要最少電力で調整します。調整ができないままで大きい電力で動作させると、本機ばかりではなく送信機をも破損することがありますので、10W以下の電力で調整をはじめます。(送信機が10W機の場合はそのままよい)
- 7) 本機のチューナー関係ツマミの位置は下記の表のようになっています。
本機のアンテナ端子に50Ω負荷(50Ω無誘導ダミーロード)が接続された場合のツマミ位置は下記の位置近くなります。又正規使用周波数用アンテナが接続された場合もこの近くに調整点があります。次の表が基準調整ポイントとなります。

基準ポイント表

周波数	FUZZY MATCH	TR MATCHING	ANT MATCHING
3.5MHz	B	3	3
7	D	5	5
10	E	6	6
14	F	7	7
18	G	8	8
21	H	8	8
24	I	8	8
28	J	7.5~8	7.5~8
50	K	7.5~8	7.5~8

「背面」



- ① 進行波メーター 送信電力を表示するメーターです。
- ② SWRメーター SWRを測定するメーターです。
- ③ トランシーバー・マッチングツマミ
チューナーの送信機側のマッチングバリコンを調整するツマミです。
- ④ アンテナ・マッチングツマミ
チューナーのアンテナ側のマッチングバリコンを調整するツマミです。
- ⑤ メーターレンジ切り替えスイッチボタン
進行波メーターをOFF/200W/200Wレンジに選択するスイッチです。(ランプスイッチ兼用)
- ⑥ チューナースイッチ
TUNER：チューナーが接続されます。
THRU：チューナーが切り離され、送信出力は直接アンテナへ供給されます。
- ⑦ キャリブレーションボリュームツマミ
PULL/CALL：送信中にこのツマミを引出し、SWRメーターの針をフルスケール(CAL点)にセットします。
PUSH/SWR：CAL点にセットした後、ツマミを押し込むとSWRを表示します。
- ⑧ ファジーマッチツマミ
トランシーバマッチングとアンテナマッチングツマミを運用する周波数の基準ポイント近くにしてから最もSWRの低下する点をファジーマッチでさがしてセットします。
- ⑨ アンテナスイッチ 2系統のアンテナを切り替えます。
- ⑩ アース端子 接地用端子
- ⑪ アンテナコネクタ 2系統のアンテナを接続することができます。
- ⑫ 入力コネクタ 送信機或はリニアアンプのアンテナ端子に接続します。
- ⑬ 電源コネクタ DC13.8±10%の外部電源(メーター照明用)を接続します。